日)の祭礼に行われる芸能です。

くりは丹波地区の氏神多

(十月の第二日曜

の構成で、 先導一人、

います。 元になったところとい 市までも含めた大丹波の 東に位置 する丹波 玉

丹後広域振興局、 パスが走り、 放送局など重要な施設 地域コミュニティ 沿道には 玉 道 京丹 後市



京都が

純米吟醸原酒 天酒大明神

っています。 まさか倶楽部」 活 性化 では純米吟 \mathcal{O}

さかさん」と呼ばれ親しまれてきま 主神様で羽衣天女の化身といわれ 神社の祭神として祀られてい 天酒大明神は地元丹波の氏

三百百

まさか倶楽

を元気に

降りて酒

しています。一度味わってみては

上がりました。地元商店などで販売

くとの言

かがでしょうか。

ています。

では酒造

世帯数 291 人口 811 人 (平成 24 年 10 月 31 日現在) 地域を元気にする取り ①あまさか倶楽部の有

志が造る伝説の酒

組み・グループを紹

て丹後の国を治めていま

山、笠の尾と鶴ヶ尾の二箇所に城が

猿役二人の踊りがユーモラスなチャア

という掛声によって、芝むくりは

際かけられる「チ

技が印

色氏が守護職と

後攻略は、 乗っ取ろうとしましたが、吉原城 主義俊を謀殺し一気に弓 色を攻めあぐね思うにま 細川氏と守る一色勢との な抵抗に会います。 を総大将として守る、一色勢の頑強 ったようです。 天 正 7 円にわたり 川氏は丹後に攻め入り 色越前守義清 熾烈を極め 細川氏は に、丹波郷の丹波城 戦い (義俊の叔父) は、攻める ついに、当 ますが、丹 の木城を 間で丹後 かせなか ていまし

②昔、丹波にお城があった 酒 起爆剤にしようとの 神」を復活することで地域 を造り、その酒は万病に しようと「丹波の郷 波では明治時代ごろま 天女は丹波の地に舞 皆で汗を流し、米作り が行われていたといい 地元の有志 18 を結成して活動をし な味わいの 人が地域

願い

が込めら

活性化の 天酒大明

春の田植えから秋の収穫、仕込みま 皆が心を込めて作業をします。

、今年もフ

酒が出来

5

酒 の仕

色氏配下

由利助之進は吉原山城の一 した。丹波 色党は全て滅亡し丹後の山城には は9月28日に落城、ここに丹後 となりました。 山命令が出され、全ての城が廃城

" 桜咲く城山公園を創ろう" を合言 れ、3月の福寿草にはじまり、4月 年に結成され、里山再生に取り組ん スモスと、訪れる人の目を楽しませ でいます。たくさんの花が植えら 葉に「城山を整備する会」が平成20 ま放置されてきました。そんな中、 り竹が伸び放題の荒れた状態のま 経済成長に伴い誰も近づかなくな そんないわれのある城山ですが 5月さつき、そして秋にはコ



丹波郷の丹波城 (笠の尾城)

民俗芸能として貴重で

皆で祝う収穫の秋 丹波の秋祭り

波

の芝むくり

(チャア







及び「田庭の郷田」を参考にさせていた